

# 令和3年度 第1回 西脇市文化財保護審議会

令和3年12月23日(木) 午後2時～  
生活文化総合センター ミーティングルーム

1 開 会

2 辞令交付

3 教育長あいさつ

4 会長、副会長選出

・会 長 \_\_\_\_\_

・副会長 \_\_\_\_\_

5 会長あいさつ

6 報告及び意見交換

(1) 令和3年度文化財関係事業の予定及び進捗状況について

ア 文化財保護事業

イ 郷土資料館事業

(2) 西脇市指定文化財諮問予定物件について

ア 観音寺のカヤ

イ 旧西脇尋常高等小学校図面及び内訳書

(3) その他

現地視察 観音寺のカヤ

7 閉 会

西脇市文化財保護審議会委員名簿（第9期）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日まで

	氏名	住所	備考
	佐野 允彦	神戸市東灘区	学識経験者（文化財報道・活用）
	瀧原 務	加東市	学識経験者（近世史）
	足立 裕司	西宮市	学識経験者（建築学）
	大平 茂	小野市	学識経験者（考古学）
	芝本 満	西脇市	学識経験者（郷土の歴史活用・啓発）
	埴岡 真弓	姫路市	学識経験者（歴史学・民俗学）

事務局	教育長	笹倉 邦好
	教育部長	森脇 達也
	生活文化総合センター 館長	大隅 誠一
	〃 主任	菅澤 敏弘

## 令和3年度 文化財関係事業予定及び進捗状況（文化財保護事業）

実施事業名	実施時期	実施内容等
各種開発に伴う埋蔵文化財所在照会に対する回答	随時	12月19日現在 225件 うち埋蔵文化財包蔵地内7件（民間6件、公共1件） 本発掘調査1件、確認調査2件、試掘調査1件、 分布調査1件（包蔵地隣接地）
市原羽安線道路改良工事発掘調査に伴う、出土遺物整理及び報告書作成について	通年	現在、報告書を作成中。 年度末に、発行予定。当初予算2,000,000円
指定文化財管理事業	9月下旬	市指定文化財下山古墳公園及び、古窯陶芸館の草刈り、植木剪定等。当初予算193,000円
旧西脇尋常高等小学校の国重要文化財指定 木造校舎 3棟 附：東便所、西便所、東渡廊下、西渡廊下 各1棟、中央渡廊下2棟、正門1所	5月21日 答申 8月2日 指定	10月28日 兵庫県教育委員会文化財課甲斐課長下見 11月4日 兵庫県移動教育委員会視察 11月12日 文化庁稲垣調査官、保存活用計画策定に係る 現地指導。 令和4年2月13日 記念シンポジウム開催予定
県指定文化財住吉神社本殿の小修理の実施	4月～5月	経年劣化における檜皮の破損個所について、応急処置としての補修を実施。（所有者の自費にて実施）
令和4年度、指定文化財補助事業計画ヒアリング	9月2日	次年度文化財保護事業についてのヒアリング（要望） ■西脇小学校保存活用計画策定（2ヵ年事業） ■莊厳寺（多宝塔 檜皮葺替、部分修理、） （長期計画） ・兵主神社（拝殿 萱葺替、半解体修理）
無形民俗文化財調査	7月20日 10月10日 1月4日	「お般若」（未指定）大般若経転読。 薬師堂（大木町）にて、大般若経（市指定）の転読。 石上神社なまずおさえ神事（県指定） 八幡神社お笑い神事（市指定） 妙覚寺ワラワラ（市指定）
文化庁補助事業 令和3年度「地域文化財総合活用推進事業」	4月～	西脇市歴史文化遺産活用活性化実行委員会 ①大木町太鼓屋台修理事業（大木町太鼓保存会） ②田高太鼓屋台修理事業（田高太鼓保存会） ③郷瀬町太鼓屋台修理事業（西脇市郷瀬町太鼓保存会） 採択額 5,291千円
東播磨・北播磨地区文化財担当者会議	1月19日	内容：各市町からの提案議題、回答に基づく意見交換
緑風台古窯陶芸館管理運営		兵庫県指定文化財緑風台窯跡及び出土遺物の保存公開と陶芸の普及啓発。（緊急事態宣言発令のため4月25日～5月11日まで臨時休館） 11月末日現在利用者数 223人（昨年度比27人減）
第1回西脇市文化財保護審議会	12月23日	諮問候補物件の審議
第2回西脇市文化財保護審議会	未定	諮問及び答申（案）の提示
文化財防火デー （西脇消防署共催）	1月予定	実施場所未定
文化財保存活用地域計画作成	通年	市内全域の文化財の総合的な把握 ・西脇市史等の既刊行物等からのリストアップ

## 令和3年度 文化財関係事業予定及び進捗状況（郷土資料館事業）

実施事業名	実施時期	実施内容等
古文書講座	11月～3月の 各月1回土曜日 (全5回)	講師：松尾良隆氏 受講申込者数：20名
夏休み体験教室	8月8日(日)  8月15日(日) ・22日(日)	播州織コースターづくり 参加者数：小学生9名(保護者5名) 勾玉消しゴムをつくろう！ 緊急事態宣言発令により中止
『史跡を訪ねて津万の里ウォーキング』(主催：津万自治協議会)	10月23日(土)	西林寺境内～寺内古墳群周辺の案内、解説 参加者：50人
北播磨郷土歴史セミナー (主催：北播磨県民局ビジョン委員会)	10月30日(土)	座学「西脇市の歴史と文化財について」 飛び出す絵本(弥生時代のむら)作成 郷土資料館及び古窯陶芸館の展示解説 参加者：25名
第85回特別展 「これなあに・むかしの道具26」	11月27日～ 4年2月20日	小学校の社会科教材に対応 市内及び近隣市町の小学校から団体見学の対応
令和3年度 ひょうごミュージアムフェア	1月8日(土) ～2月6日(日)	開催場所：尼崎市立歴史博物館 85回特別展の資料配布
ふるさと探訪ハイキング	年1回	未定(2～3月)
研究紀要『童子山』第25号発刊	3月刊行予定	A5判。250部印刷予定。 近隣図書館、公共機関、小中学校、博物館・資料館などに配布。一般頒価1,000円(予定)
収蔵資料燻蒸作業	3月(予定)	年間収集資料および定期管理品のガス燻蒸(令和3年度は活性炭入替) 予算440千円
展示資料、調査研究資料購入	通年	予算80千円
寄贈・寄託品の受入れ	通年	11月末日現在：寄贈8件 移管1件 ※餅つき機、すげ製かばん 他
郷土資料館総入館者数		9月末日現在：391人 臨時休館(4月25日～5月11日)

## 令和3年度 埋蔵文化財発掘調査等対応状況

■埋蔵文化財包蔵地照会件数 225 件（令和3年12月19日現在）

うち埋蔵文化財包蔵地内7件（民間6件、公共1件）

- ・本発掘調査【周知の埋蔵文化財包蔵地】 1件
- ・確認調査【周知の埋蔵文化財包蔵地】 2件
- ・試掘調査【周知の埋蔵文化財包蔵地外】 1件
- ・分布調査【周知の埋蔵文化財包蔵地外】 1件

	遺跡名 調査種別	事業名	対応
1	大野古墳 本発掘調査	地場産業工場建設造成 工事	本発掘調査の実施 7月26日～11月14日 直径約10m円墳 木棺直葬
2	大垣内遺跡隣接地 試掘調査	太陽光パネル	試掘調査（8月4日） 遺物及び遺構無し
3	童子山窯址隣接地 分布調査	包蔵地照会	分布調査の実施（10月18日） 遺物及び遺構無し
4	石上神社遺跡 確認調査	農作業小屋設置に先立 つ土地造成工事	確認調査(11月19日) 遺物細片を1点採取 遺物包含層並びに遺構無し
5	石上神社遺跡 確認調査	〃	確認調査(12月11日) 遺物の細片を2点採取 遺物包含層並びに遺構無し



令和3年度埋蔵文化財発掘調査箇所 位置図

## 大野古墳発掘調査概要

- 1 所在地 西脇市大野字逆サマ 540 番地 10
- 2 開発事業名 地場産業工場建設造成工事
- 3 調査期間 令和3年7月26日～11月14日
- 4 調査面積 約40㎡
- 5 調査に至る経過

周知の埋蔵文化財包蔵地「大野古墳」を含む敷地内で造成工事が計画された。造成工事が着手された平成29年の協議で同古墳は島状に残し現地保存とし造成工事が進められたが、本年度に古墳を削平する事業計画となり、本発掘調査を実施した。

### 6 調査結果

#### ■墳丘

直径10m、高さ1.3m、約1mの周溝を有する円墳。

#### ■埋葬施設

墳頂部中央に1基 木棺直葬

墓坑 長さ3.8m、幅1.8m

木棺 長さ2.7m、幅70cm 深さ約50cm

棺内・墓内からの出土遺物はなかった。

#### ■出土遺物

墳丘斜面部および周溝よりわずかに細片が出土したのみ。

甕(古墳時代後期～)、壺(律令期)、杯(古墳時代中期末?)、

土師器片(時期不明)、丹波焼(中世)

#### ■その他

周溝部の下より、小型の石組遺構が確認したが、遺物はなく詳細は不明。

### 7 まとめ

大野古墳は、南北に延びる尾根上に築かれた古墳であり、津万平野の南に位置し、北側の眺望に優れる。墳丘上に陥没穴があったが、主体部は未盗掘であった。棺上西端には立石があり人為的に埋設時に置かれたと考える。埋葬施設からの遺物の出土はなく、遺物も少量であることから築造時期は不明であるが、今後整理作業の中で検討を進めたい。







調査区遠景（北東から）



調査前の状況（南から）



棺内掘削状況（南西から）



棺内掘削状況（北西から）



棺内完掘状況（南西から）



大野古墳と津万平野の眺望（南西から）



墓坑完掘状況（南西から）



墳丘断割り後全景（南西から）



石組遺構



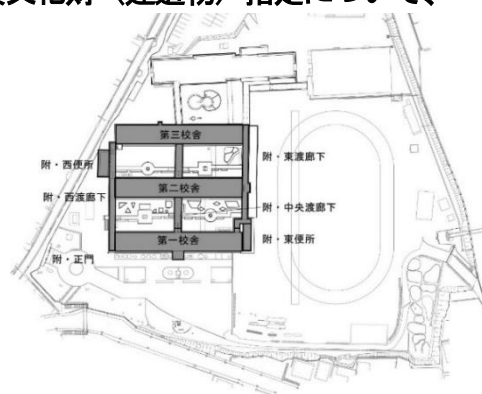
出土遺物



## 西脇小学校木造校舎（旧西脇尋常高等小学校）、国重要文化財（建造物）指定について、

5月21日の答申を経て、8月2日付で「旧西脇尋常高等小学校」を国重要文化財（建造物）に指定されました。

西脇市では初の国重要文化財となり、現役小学校校舎が国指定となるのは全国で3例目、兵庫県内で初です。



指定物件の範囲

- 1 指定名称 旧西脇尋常高等小学校 1件 3棟  
第一校舎【昭和9年（1934）】  
第二校舎【昭和12年（1937）】  
第三校舎【昭和12年（1937）】
- 2 附 東便所、西便所、東渡廊下、西渡廊下各1棟、中央渡廊下2棟、正門1所

3 指定基準 「歴史的価値の高いもの」

#### 4 構造形式

第一校舎:木造、建築面積645.68 m<sup>2</sup>、二階建、金属板葺

第二校舎:木造、建築面積624.70 m<sup>2</sup>、二階建、金属板葺

第三校舎:木造、建築面積628.01 m<sup>2</sup>、二階建、金属板葺

附

- ・東便所 1棟:木造、建築面積 54.33 m<sup>2</sup>、平屋建、スレート葺
- ・西便所 1棟:木造、建築面積 46.57 m<sup>2</sup>、平屋建、スレート葺
- ・東渡廊下 1棟:木造、建築面積 164.22 m<sup>2</sup>、平屋建、スレート葺
- ・中央渡廊下 2棟:木造、建築面積延 119.06 m<sup>2</sup>、平屋建、スレート葺
- ・西渡廊下 1棟:木造、建築面積 151.33 m<sup>2</sup>、平屋建、スレート葺
- ・正門 1所:石造、主門柱一対及び両脇門柱からなる

#### ■概要

西脇小学校木造校舎は旧西脇尋常高等小学校の校舎として昭和9年（1934年）から昭和12年（1937年）に建設された木造二階建の校舎3棟を並列に配置し、東西及び中央の渡廊下で接続します。これら渡廊下と便所2棟および正門1基も附指定されています。

令和元年度には耐震補強やバリアフリー化など教育環境を整備する保存改修工事が完了し、現在も学舎として使用されています。



昭和時代前期に文部省の学校設計基準に準じて建設された典型的な形式であり、校舎外観は、地元設計者内藤克雄により簡潔ながら上品な洋風の意匠でまとめられている。学校建築の発展過程を示しており、歴史的に重要であることが評価された。



## 市指定文化財諮問予定物件

### 1 観音寺のカヤ

- (1)種類 天然記念物
- (2)所在地 西脇市西脇766
- (3)所有者 宗教法人 観音寺
- (4)概要



カヤはイキイ科カヤ属の常緑高木である。西脇市西脇北部にある観音寺境内、鐘楼の横にある「観音寺のカヤ」は樹高約15m、幹周り約5.3mで、樹齢は400～450年と推定される。西脇市動植物生態調査研究グループの調査によると市内最大のカヤの巨木である。



### 2 西脇尋常高等小学校設計図及び内訳書

- (1)種類 歴史資料
- (2)保管場所 西脇市郷土資料館
- (3)所有者 西脇市
- (4)点数 設計図53枚 内訳書9冊 計62点
- (5)概要

株式会社内藤設計内藤正克氏より寄贈を受けた、旧内藤設計事務所保管の設計図53枚及び内訳書8点及び西脇小学校所蔵の内訳書1点。